

## 非常に不気味…

JJ1SXA/池

2月19日の衆議院予算委員会で民主党小川淳也議員が質問に立ち、「この間の東京都知事選挙の田母神候補、特異な主張をしておられた候補だと私はお見受けしましたが、相当数の得票を得、なおかつ中身を見ますと20代が半分以上投票している、世論の一定の支持があることを大変、私は不気味に懸念し、心配しています、これは国内の構造問題としてとらえるべきと私は思っているのですが麻生副総理は現在の状況をどのように受け取られているのかご見識をお聞かせください。」と発言。

答弁に立った麻生副総理は、「不気味という言葉が訂正されるつもりはありませんか?」、「そのまま不気味と思っている言葉を訂正されるつもりはございませんね?私は不気味には感じませんでした。」と答弁したのに対し、小川議員は、「それならそれで結構です、私は、世界的な傾向だと思うんですよ、ヨーロッパでも移民排斥のようなことも起きたりします、排外主義的な考え方、対外強硬論、アメリカでも茶会、ティーパーティーのような運動がある、私は為政者としては、こういう風潮、空気に対しては、これは国内の構造問題であり、そこから出てくる閉塞感、これが外に対してはけ口を求めているという風に捉えるセンサーといいますか、賢明さといいますか、そういうものが無いと、非常にこの国の運営を危うくするという立場から危惧しているわけでありまして、できればそういうご見識をお聞きしたかったわけでありまして、お得意の木で鼻をくくったような答弁を頂いて非常に残念であります」と続けた。

彼はその後ネットで叩かれ、2月21日に自身のツイッターで謝罪する羽目に陥った、簡単に謝罪するほど信念の無い発言をするのはどうか?と思う。

彼を支持している組織は、自治労香川県本部・JR四国労組・部落開放同盟香川県連合会・高松南倫理法人会・平和労組会議高松地区労・日本郵政グループ労働組合香川県東支部・全日本たばこ産業労働組合四国支部等々で、いずれも、左翼系の組合です、彼は民主党では無く、共産党か社民党の方が似合ってるのでは無いか?

都知事選の終わった後で、自分と信条が異なるということで批判するのは、一般人なら許されるでしょうが、議員の立場、それも予算委員会の質疑で、特定の候補を名指しで批判するのは、非常識そのものと言えるのでは無いか?

ネットでは「61万人を敵にした」、「憂国の若者を侮辱した」、「お前の歴史認識は正しいと思っているのか」などとの文言が目立つ、また「…非常にこの国の運営を危うくするという立場から危惧…」には、「お前のような議員が、国の運営を危うくする」、「お前の考えの方が不気味だ」との発言もありました。

公的な場で他者を非難する場合は基準や根拠に基づき厳密に行うべきだ、そうで無ければ、ただの感想でしか無い、いずれにしても、非常識な言動をする国会議員が多いことに暗澹たる気持ちを抱き、うんざりする。

(23.Feb,2014記)